

「サイエンスアゴラ 2025」130 を超える出展プログラムが決定！ “科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来”をビジョンに掲げ開催

JST（理事長 橋本 和仁）は、「サイエンスアゴラ 2025」を、
2025年10月25日（土）・26日（日）にテレコムセンタービルと
日本科学未来館（東京都江東区）で開催します。

＜科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来＞

「サイエンスアゴラ」は、科学技術と社会をつなぐ国内最大級のオープンフォーラムで、あらゆる立場の人たちが集う広場です。20回目の開催となる今年はサイエンスアゴラのビジョンとして掲げる、「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」にふさわしく、まさに今、先端研究を担い推進する多くの機関からの出展や、未来の担い手となる中高生が主体となって実施するプログラムが例年以上に多く集まりました。量子コンピューター、細胞内サイバネティック・アバター、ニューロテックといった未来社会を描くもの、中高生が主体のプログラムでは、プログラミング、カードゲーム、VR体験などを通して対話を促す工夫を凝らすなど、多様なものとなっています。くらしや社会と科学とのつながりを意識したプログラムも多く、科学を「楽しむ」だけでなく、進化し続ける科学技術が私たちの生活に与える影響や、そこから生まれる可能性や課題について参加者と共に考え、未来社会に向けた新たな視点を共有する場になることを願っています。






SCIENCE AGORA



＜来場者フレンドリー 出展者にも交流の機会を＞

今年は来場者がそれぞれの関心度によって参加するプログラムを選べるよう出展者の申告に基づく難易度を表示します※。また、未来の担い手となる中高生が主体となったプログラムは、同世代が交流しやすく、さらに先端研究を行う大学や研究機関との行き来も生まれるような出展配置にするなど工夫し、来場者はもちろん出展者にも充実した時間を過ごしてもらえることを期待しています。

-  まろやかでやさしい味わい、予備知識ゼロでも安心。子供から大人までまずはひとくち、科学の世界を召し上がれ。
-  もう一步踏み込んで、科学の面白さをより詳しく知りたい、味わいたい方に。好奇心がじわっと広がります。
-  専門的な内容をじっくりと、知的好奇心にピリッと刺激を。本気の科学トークに挑む覚悟はOK？

※トウガラシマークによる各プログラムの難易度の目安を Web サイトや会場に表示します。

＜5つのジャンル設定と会場キュレーション（プログラム配置）、推進委員イチオシの注目プログラム、サイエンスショーも＞

メイン会場のテレコムセンタービルでは、来場者が巡回する際のガイドとなるようフロア内で各プログラムと連動する「地球・生き物・私たち」「食・農業・健康」「街・空間・生活基盤」「研究・対話」「学び・体験・創造」の5つのジャンルを設けるとともに、ブースの配置を工夫する「キュレーション」を実施しました。科学コミュニケーション分野で活躍するアナウンサーで同志社大学 ハリス理化学研究所所属の榎 太一 氏ら、有識者10人で構成する「サイエンスアゴラ 2025 推進委員会」（委員長：JST 理事 次田 彰）がこのキュレーションを進め、注目プログラムも選出しました。サイエンスアゴラ開催初日の25日（土）には、同じく推進委員でサイエンスエンターテイナーとしても知られる東京都市大学の五十嵐 美樹 氏による、科学の魅力や面白さを学べるサイエンスショーを実施します。



榎 太一 氏らがテレコムセンタービル会場のキュレーションを担当



五十嵐 美樹 氏がサイエンスショーを実施（25日（土））

＜日本科学未来館や近隣機関と連携した同時開催などお台場地区を挙げた盛り上がり＞

日本科学未来館では、5G通信と先端医療技術を活用した“動く手術室”として、災害現場や医療資源の少ない地域に出動して遠隔医療が可能な移動型手術車両「モバイル SCOT」の展示・実演を行います。また国際量子科学技術年である今年度は、日本科学未来館と日本物理学会がコラボレーションしたプログラムなどを実施、さらに同時開催として、産業技術総合研究所 臨海副都心センターの一般公開、東京国際交流館の国際交流フェスティバル、東京都立産業技術研究センターの一般公開など、近隣機関とも連携してお台場地区を盛り上げていきます。

＜130を超えるプログラムで驚きと感動を＞

若い才能の育成を目的とする「国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト（IVRC）」や、科学への夢や自由な発想を発掘する「学生アイデアファクトリー」、人々の幸福（Human Well-being）の実現を目指し掲げられたムーンショット目標の研究開発、未来社会を担う次世代を巻き込んだ取り組みや、研究者同士の対話セッションなど、130を超えるプログラムにご期待ください。

＜サイエンスアゴラ 2025 開催概要＞

日時：10月25日（土）・26日（日）10:00～17:00

会場：テレコムセンタービル、日本科学未来館（東京都江東区青海）

※参加費無料（一部のプログラムは、材料費などが必要です。）

【特設ウェブサイト URL】 <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2025/>



＜添付資料＞

別紙：サイエンスアゴラ 2025 について

<お問い合わせ先>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

大矢 克 (オオヤ マサル)、屠 耿 (ト コウ)

Tel : 03-5214-7493

E-mail : agora@jst.go.jp

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

サイエンスアゴラ 2025 について

「サイエンスアゴラ」は、科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる立場の人たち（市民、研究者、専門家、メディア、産業界、行政など）が対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結び付ける「共創」のプラットフォーム構築を推進しています。

ビジョン：科学と暮らし ともに語り 紡ぐ未来

今年も、テレコムセンタービルと日本科学未来館の2拠点連携で開催します。サイエンスアゴラに集う人々が自分の興味関心に沿って会場を楽しめるよう、採択された全てのプログラムは、自然科学や人文・社会科学も含めた5つのジャンルに基づき申請されており、推進委員は担当するジャンルのプログラムについて、新たな視点やつながりが生まれるようキュレーションを行いました（次ページに詳細あり）。

<サイエンスアゴラ 2025 開催概要>

日 時：10月25日（土）・26日（日）10:00～17:00

会 場：テレコムセンタービル、日本科学未来館（東京都江東区青海）

特設サイト：<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2025/>

参加費：無料（一部のプログラムは、材料費などが必要です。）

主 催：科学技術振興機構（JST）

協 賛：旭化成株式会社、NTT株式会社

協 力：東京臨海副都心まちづくり協議会、株式会社東京レポートセンター、株式会社ゆりかもめ

後 援：内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、東京都、日本学術会議、日本経済団体連合会、国立大学協会、日本私立大学団体連合会、理化学研究所、産業技術総合研究所、日本学生支援機構、東京都立産業技術研究センター

グローバル

パートナー：アメリカ科学振興協会（AAAS）、南アフリカ共和国科学技術・イノベーション省（DSTI）、韓国科学創意財団（KOSAC）

<サイエンスアゴラ 2025 推進委員会（委員は五十音順）>

委員長 次田 彰 JST 理事

委員 五十嵐 美樹 東京都市大学 教育開発機構 准教授

委員 伊藤 洋一 日本科学未来館 副館長

委員 稲見 昌彦 東京大学 総長特任補佐

同 先端科学技術研究センター 副所長／教授

委員 上村 遥子 SUNDRED 株式会社 チーフエバンジェリスト／コミュニティデザイナー／パートナー

委員 川越 至桜 東京大学 生産技術研究所 准教授

委員 重藤 さわ子 事業構想大学院大学 教授

委員 新熊 亮一 芝浦工業大学 教授

株式会社ハイパーデジタルツイン 創業者／取締役 CTO

委員 本多 達也 富士通株式会社 コンバージングテクノロジー研究所

ソーシャルテクノロジー社会実装推進室 Ontenna プロジェクトリーダー

委員 榎 太一 同志社大学 ハリス理化学研究所 専任研究所員（助教）

<サイエンスアゴラ 2025 のキュレーションジャンルと担当推進委員>

1. 学び・体験・創造 担当委員：五十嵐 美樹 氏、川越 至桜 氏
2. 食・農業・健康 担当委員：重藤 さわ子 氏、新熊 亮一 氏
3. 地球・生き物・私たち 担当委員：榊 太一 氏、本多 達也 氏
4. 研究・対話 担当委員：伊藤 洋一 氏、上村 遥子 氏
5. 街・空間・生活基盤 担当委員：稲見 昌彦 氏、本多 達也 氏

<サイエンスアゴラ 2025 推進委員会が選出した注目プログラム>

(全てテレコムセンタービル会場で実施)

実施日時	プログラム	出展者
ブース		
10月25日(土)	サステナファッション体験!	福井大学
10月26日(日)	カギは超臨界流体技術	
10:00~17:00	ドキドキどうぶつラボ: 感覚でつながる どうぶつの世界	京都市動物園
	江戸前の小さなクジラ “スナメリ”を探そう!	東京海洋大学 東京湾スナメリ調査チーム
	教育とイノベーションで FUKUSHIMAが変わる	福島イノベ機構 & F-REI
	エネジョ×LABO: 磁石とコイルで振動発電!	エネジョ×LABO (エネルギー× 女子高生×Laboratory)
	アゴラで愛を叫ぶ! 科学・研究への愛を教えてください	サイエンストークス
	AI 人生相談所『あの文豪が君に答える』	理系の森ラジオ制作チーム
	「サイエンス×アート」で探究する 未来の学び	ナインキッズラボ 9kidslab
	世界と地域、世代をつなぐ! 課題解決して未来を作ろう	東京工科大学 工学部 グローバル STEAM プロジェクト
	光のふしぎ ~光るスノードームを作ってみよう!~	日本技術士会 科学技術振興支援委員会
セッション		
10月25日(土) 13:45~14:45	キスのときどっちに顔を傾ける? ~恋愛の左右の秘密~	法政大学 恋愛科学研究室 (越智研究室)
10月26日(日) 10:30~12:00	量子が揺らす法廷: 重ね合わせ人間の事件簿	名古屋大学サイエンス裁判所 (有志グループ)

以上